

# 議会だより

ひだか

第149号

平成29年4月25日

高町立比井小学校  
于九年度入学式

5名の新生  
(比井小学校入学式)

前年度比2.6%増	29年度一般会計予算	2
禁煙外来に助成制度	予算審議	3~4
小学校統合について住民への説明を	一般質問	5~11
新しい議会構成		12

【発行】 日高町議会 〒649-1213 和歌山県日高郡日高町大字高家626  
【編集】 議会広報特別委員会 TEL (0738) 63-3810 Eメール gikai001@town.wakayama-hidaka.lg.jp

## 特別委員会設置

# 小学校統合を調査研究

比井小学校・志賀小学校の統合計画発表、学校統合計画基本設計料557万3千円の予算計上を受け、議長を除く10人の議員で小学校統合に関する調査研究特別委員会を設置した。

## 平成29年度

一般会計 **42億8,226万円**

特別会計 **25億5,067万円**

予算総額 **68億3,293万円**

### 水道事業会計

収益的収入 **2億3,893万円**

収益的支出 **2億6,212万円**

資本的収入 **7,936万円**

資本的支出 **1億5,404万円**

3月定例会は3月10日から14日間の会期で開催した。町長の施政方針を受けて提案された平成29年度一般会計、特別会計、水道事業会計など議案17件、同意1件、発議2件、また平成28年度一般会計、特別会計補正予算など議案5件について、それぞれ慎重審議の結果、原案のとおり同意・可決し、23日に閉会した。

### 一般会計予算

前年度比で2.6%の増額予算である。

新たな事業として、役場北側駐車場の整備、水防倉庫新築、禁煙治療費・特定不妊治療費への助成、志賀保育所駐車場整備、1市6町による「日高地域消費生活相談窓口」の開設、漁港の老朽度調査・長寿命化計画策定、産湯海水浴場周辺への椰子の木植栽・ミストシャワー設置、比井小学校と志賀小学校との学校統合計画基本設計などを実施する。

また、比井地区の避難道路・広場工事、町道高家中央線拡幅工事等を引き続き実施する。

# 一般会計

**問** ふるさと納税返礼品費、150万円の説明を。

**総務政策課長** 28年度は

50万円の予算であったが、29年度からインターネット通販会社等に委託をす

る。寄附額1万円の500件を想定している。1件につき3千円の返礼品を贈るため、150万円を計上した。

**総務政策課長** 29年の10月で契約更新となるのを機に、南海トラフなどの巨大地震に備えて群馬県の施設にバックアップを取るための費用が主な要因である。

**問** クヌッセン機関長殉難60周年記念関係の内容について説明を。

**総務政策課長**

**長** 7月に町長、議長、教育長がデモンマークを訪問し、デモンマーク王國フレデリックハウン市との友好交流にかける覚書の締結をする。また、10月にも船で受難された付近まで行って、献花をすることも考えているが、詳細は調整中である。

用料が昨年度より約3倍になっている理由は。

**総務政策課長**

**問** 役場裏駐車場と水防倉庫の完成予定は。

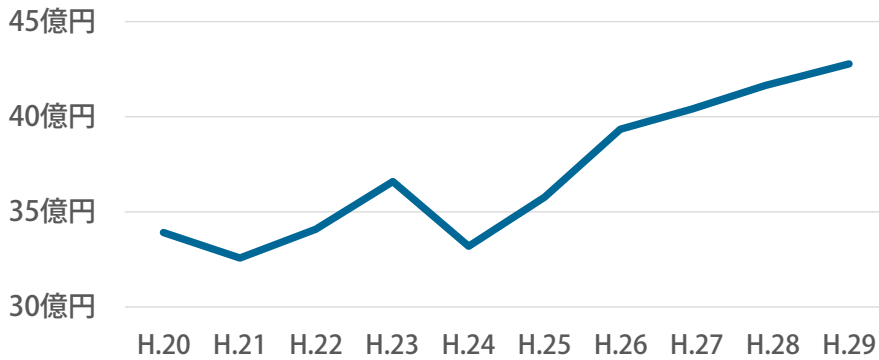
**総務政策課長**

水防倉庫とバスの車庫を建築後、旧水防倉庫の撤去を行う。その後、水路工、舗装工の順で施工し、年末の完成を予定している。



工事中の役場裏駐車場

## 一般会計予算の推移



**問** 電算使

**問** 志賀保育所増築基本

**問** 臨時保育士の雇用人数の見込みと、待遇改善について説明を。

**住民福祉課長**

前年度に比べて臨時保育士が1名増となる。フルタイムの保育士に対して月額給与の半額を2回支給する。

設計委託料184万7千円の説明を。

**住民福祉課長** 園児の増加に伴う教室不足に対応するため、現在の敷地内で2教室程度の増設が出来ないか検討する。

**問** 禁煙外来治療費補助の説明を。

**健康推進課長**

保険適用の禁煙治療を完了した方に対して、1万円を上限に治療費の2分の1の助成をする。本年度は30人程度を見込んでいる。

### ◆◆◆ 一般会計予算の討論 ◆◆◆

#### 【反対討論】

**西岡** 保育所民間委託方針の表明、首長の考え方が教育行政に大きく反映される制度に変わった中で、比井小・志賀小統合方針の突然の発表など、どこで、どのように、誰のために、何のために政策決定されているのか、議会や住民の声をどう聞き判断しているのか大きな疑問である。

国・県の予算獲得も、町長と職員が一体となり取り組んでいるか疑問を感じる。何もしなくても人口は増えていくという甘えがないか。

国の予算は、アベノミクスの行き詰まりが表面化し、暮らしの予算が削減されている。そんな中で、地方自治体の本来の役割である「福祉の増進」を基本に、住民の生命と暮らしを守る町政を求める。

#### 【賛成討論】

**稲垣** 本年度の予算は、昨年の熊本地震や東北・北海道を襲った台風10号など日本各地での被害を教訓として、自然災害から人命を守るための防災対策に重点的に予算配分されていることが伺える。また、子育て施策については、園児数の増加に備え、保育室の増設に取り組まれるなど、保育環境の充実が図られている。厳しい財政状況の中で、「子どもからお年寄りまで健康で安心して暮らせるまちづくり」のための防災対策を始め、福祉施策の充実などが図られた予算措置がなされている。

予算の執行に当たっては、住民福祉の向上と町政発展のため、なお一層努力されることを強く要望して賛成討論とする。

新教育長に玉井幸吉氏  
(任期は5月11日から3年間)



**問** 特定不妊治療費補助金を新たに実施するということであるが、県の補助金との関係は。

**健康推進課長**

1回の治療費が高額である体外受精、顕微授精などに対して国・県の助成制度があり、上乘せ助成として、1回につき定額10万円を上限に10回分を見込んで

**問** 海岸堤防等老朽化対策緊急事業委託料7500万円の内容は。

**産業建設課長**

海岸堤防等の長寿命化計画、並びに、老朽化対策計画を策定するものである。海岸堤防の修繕工事に対する

補助金を受けるために必要であり、町内5つの漁港の防潮堤が対象になる。

**問** 温泉館費のイベント関係費についての説明を。

**産業建設課長**

9月から11月ぐらいの来客が少ない時期に景品を用意して、スタンプリー的な企画を考えている。

**問** 日高地域消費生活相談窓口についての説明を。

**住民福祉課長**

29年度より、御坊市役所内に事務所を設置し、2名の相談員を置く。1名が常駐し、もう1名は各町を巡回する形で運営する。

日高町は第2、第4火

曜日が巡回日となる。経費については1市6町の人口割で負担し、日高町は58万2千円となる。

**問** 久志・中志賀地区農業基盤整備促進事業費についての説明を。

**産業建設課長**

県営事業として計画している圃場整備事業（久志・中志賀）において、国へ申請するための概要設計に係る町の負担金。

**問** 志賀小学校統合計画基本設計委託料の説明を。

**教育課長**

志賀小学校と比井小学校の統合については近々の課題と考えている。統合により想定される教室不足等の問題を検討するために、基本設計委託料を計上した。

### 国保特別会計

**問** 1856万円の国保税増収を見込んでいるが、

国保運営協議会への諮問、



町内の防潮堤

答申はどのようなになっているか。

**健康推進課長**

予算編成にあたっての計算では、21・45%の保険税の引き上げが必要であったことから、基金から2千万円を繰り入れ、負担緩和した上で一人当たり保険税を10万8252円、11・74%の引き上げを諮問した。

運営協議会からは、医療費の高い水準が続いている状況から税の負担増はやむを得ず、了とするとの答申を得た。

### 平成28年度一般会計補正予算

補正額は1億6356万3千円の増額、  
補正後は45億6084万8千円とする。

#### — 主な内容 —

- 日高中学校校舎改修事業で3億6389万7千円の増額や、漁港施設整備事業費1億3591万7千円、町道改良事業費2146万円、阿尾地区避難広場整備事業1100万7千円の減額等。

**問** 比井地区の漁港施設整備事業費減額の理由は。

**産業建設課長**

国庫負担金3億円の要求に対して、国の財政状況が厳しいとの理由で1億6500万円しか認められなかったため。

**問** 学童保育所周辺整備850万円繰り越しの内容は。

**教育課長**

国道からの進入路部に地下埋設物（光ファイバー・ボックスカルバート）があり、道路管理部門と協議に時間を要した。その結果、施工が非常に困難であり、また、隣接地の用地取得についても協力が得られなかったため、小学校グラウンド側に待避所を設けることになった。

**問** 中学校の改修計画と内容について説明を。

**教育課長**

7月までに仮設校舎を設置。その後、本体工事に着手し、完成予定は平成30年3月31日。

主な改修内容は、屋根・外壁・床・便所の改修、多目的トイレの設置、アスベスト対策等を行う。

# 未来をきづく

# Q & A いっぴん質問



19年間実施した雪国体験

## 子ども達に雪国体験を 教育長 ニースあれば検討する

榮 茂美 議員

**榮** 毎年、冬の季節になると、近隣市町では、子ども達を雪国体験に連れて行き好評である。日高町でも実施すればどうか。

**教育長** 子ども達の雪国体験は、日高町母親子どもクラブ運営協議会の主催事業として、平成4～16年度までの13年間実施し、その後、日高町地域活動連絡協議会の主催事業として、平成17～22年

度までの6年間、計19年間実施してきた。しかし、平成22年度末に、加盟していた2つの母親子どもクラブが解散したため、主催団体が無くなった。

小学校6年生全員に行い、計16名で実施した。翌年度も3名という少ない参加希望者だったので、同様に一般募集を行い、計13名で実施した。

**榮** 3歳になれば保育所への入所も多くなり、平日の公園遊具の利用は、3歳未満の幼児である。0～3歳児対象の幼児専用遊具も必要ではないか。



**教育長** 再興できるかどうか、検討する必要があると考えている。

## 公園の拡張 整備を

**榮** 高家住民公園の遊具の対象年齢は何歳か。

**町長** 全て3～6歳である。

**町長** 公園の中に、使用していない池等がある。今後、そういった場所も活用できないか、考えていきたい。

**他の一般質問**

「日高町総合戦略の進捗よく状況とその評価」  
「高齢者支援センターの開設で活発な地域交流拠点作りを」

**榮** 子ども達の雪国体験が、日高町で19年間も実施されてきたのは、この体験に人気があったからではないか。

**榮** 平成21、22年度の一般募集は、町内小学校6年生だけを対象に募集したが、近隣市町では募集の対象学年を小学校5年生まで引き下げている。参加人数の減少が問題なら、こうした対応で解決できるはずだ。

**教育長** 今後、町民のニーズが高まるようであれば、検討を行いたいと考えている。

**教育長** 主催団体の加盟クラブ数や加入児童数が年々減ったことから、雪国体験の参加希望者も減少してきた。

**榮** 町民のニーズの高まりとは、どこで判断されるのか。

平成21年度は参加希望者が3名しか集まらず、初めて、一般募集を町内

一度、保護者や子ども達に、聞き取り調査やア

# 町道高家中央線の早期完成を

芝 充彦 議員

町長 しょうかいと申す。国に働きかけて早く

■ 去年の12月議会で質問をした町道高家中央線の拡幅事業は、平成27年度から5カ年計画で、総延長780m、道路幅員が5m、1.5mの歩道がつく事業で、完成すれば避難道路としての有効活用、また国道42号の機能を補完する安全で快適な道路として活用が期待できるものである。

■ 「当初の計画通りに平成31年度には完成出来るのか」との質問では、町長は「現在のところ事業費の内示額が要望額より少ないこともあり、平成31年度に完成出来るかは不透明な状況であるが、1日でも早く完成を目指して取り組む」との答弁であった。



今年度から着工する

■ 「29年度から用地買収、31年度未完成」と大きく見出しが出ており期待の膨らむ内容であった。しかし、担当課の「コメ

■ 「1日でも早く取り組む」と言っている中、この記事について町長はどのように受け止めているのか。町長は平成27年度は要望額2千万円に対して内示額1100万円、平成28年度は要望額5千万円に対して内示額3150万円と、要望額に対して内示額が約6割程度と非常に少ない状況である。担当課において可能性として話をした事が記事になった。



■ 要望額に対して内示額が約6割程度と少ない状況であるから、完成が先延ばしになると言うのが、現時点では理解が出来ない。

■ 6割を7割、8割とするのが本来の行政の立場ではないか。

■ 町長は「1日でも早く完成に取り組む」という姿勢であるならば、今回の担当課のコメントは「厳しい財政状況である中、国道42号の機能を補完する道路であるため、しっかりと国に働きかけていきたい」というコメントになるのではないかと、町長は「課を挙げてしっかりと県・国に要望活動をしていきたい」と思っている。



早期完成が待たれる

■ 町長は「1日でも早く完成に取り組む」という姿勢であるならば、今回の担当課のコメントは「厳しい財政状況である中、国道42号の機能を補完する道路であるため、しっかりと国に働きかけていきたい」というコメントになるのではないかと、町長は「課を挙げてしっかりと県・国に要望活動をしていきたい」と思っている。

玉井 博和 議員

# 早期に斎場駐車場確保を 町長 駐車場不足の解消に取り組む



日高町斎場

**玉井** 町斎場へは自家用車で行かれる方が多いために、平成14年2月に建設して以来、駐車場不足について、長年言われてきた問題ではないのか。その後、15年経過しているが、町の斎場に見合う十分な駐車場はまだありません。せっかく立派な斎場があるにもかかわらず

ず、駐車場が少ないのが利用者の少ない一因ではないか。是非、この問題を早期に解消していただきたい。  
**町長** 斎場の駐車場については、斎場利用届者の方への説明、また斎場火葬業務等委託業者、葬祭業者には文書で斎場の駐車場の利用について通知

している。駐車場がない事により道路への駐車など、周辺の方にも迷惑を掛けることになりかねない。  
今後も地元への相談も含め駐車場不足の解消に取り組んでいきたいと考えている。  
**玉井** 現状を打開するためには、早急に仮設の駐車場を作ることも必要ではないか。  
**町長** 現実的にはやはり駐車場も狭いということがあるので、その点についても、十分考えていきたい。

## 来庁者への 町職員の対応

**玉井** 来庁者が用件のある部署にスムーズに誘導できる方策について、町長の考えをいただきたい。町民に対し寄り添った親切で丁寧な細かい対応にしていきたい。それにより、町民の心が和み、

又、快く用件のある部署で話ができるが、町長の考えは。

**町長** 当町では、限られた職員で業務を行っており、人的余裕もないので、現時点では案内係などを設置することは考えていない。

**玉井** 職員に声を掛けづらいと感じている町民の方もいるので、私の案であるが、「お困りの方は

どなたでもご相談ください」という案内板を受付カウンターに置いてはどうか。

**町長** 窓口に総合案内窓口というような形であれば、町の方も対応、職員も対応しやすいと思うので、今後考えていきたい。

他の一般質問  
「次期町長選への意向は」



役場の窓口（住民福祉課）

### 辻村 昌宏 議員

# ため池の草刈り、危険度緩和対策を 町長 関係各位と協議し取り組む



草刈り作業風景

**辻村** 町内のため池は、町管理であるが、維持管理は地元受益者が行っている。その中で、特に作業量の多いのが堤の草刈りである。しかしながら、近年の高齢化、それに伴

う実作業人数の減少、堤体が急斜面ということもあり、大変危険な作業である。このような状況を考えて場合、作業の危険度緩和の対策を考えていただきたいが町としてど

のように考え、取り組んでいくのか。  
**町長** ため池の維持管理は、水位調整や堤体の草刈りなど、地元受益者にお願している現状である。しかし、農業者の高

齢化により堤の急斜面での草刈りは足場も悪く、事故などの危険性があるため、事故防止に何らかの手立てはないものかと私も常々思っている。具体的には、ため池の堤体斜面に小段を設け、草刈りをする場合の足場とする方法が考えられるが、堤体が強度不足とならない配慮が必要である。また、すべ

るため池にこの方法を実施するには多額の費用もいることから、補助事業を活用できるような県に働きかけるとともに、防災面も考慮する必要があることから、各地区の関係者と協議をしながら取り組んでいきたい。

**辻村** 補助事業を活用できるように県に働きかけたいということだが、一定の目的はついているのか。  
**産業建設課長** ため池の草刈りの足場については、堤防を掘削する必要があることから、県の方では強度不足になることを懸念している。他県の例もあるのですが、県との協議が必要かと思う。

**辻村** 小段を設ける以外の工夫もあれば検討していただきたい。  
次に、町ではため池の事業は、防災として、地元負担金なしで実施してきたがこの件についてはどうか。  
**産業建設課長** ため池の改修については、受益者負担金をとっていないが、補助金をもらえなかった場合に全額町費ということになれば、町の負担も大きい。できるだけ、県の補助金をもらいながら進めていきたいと考えている。

**辻村** 補助事業として、県が取り組めないという時はどのように考えるのか。  
**町長** 作業により事故が起こる可能性もある。今後、補助事業としてできるかどうかを考えてみたい。

**辻村** 私は、この事業については、防災に絡んでいると思う。負担金なしでお願いしたいが、そのような把握をさせてもらってもよいか。  
**町長** その点については防災的な面もあり、今後、県との相談の中で判断していきたい。





### 稲垣 崇 議員

## 小学校統合について住民への説明を

## 教育長 速やかに誠意をもって対応していく

**稲垣** 平成27年の9月議会で、小学校適正規模・適正配置について、教育委員会の対応を質問した。その時、教育長は「今後の児童・生徒数の推移を十分に把握し、保護者や地域の方々の意見を聞くことが大切である」また、「状況については、十分に把握している。しかし、教育委員会から年度計画の中で声を掛けていくことは、考えていない」と答弁した。しかし、去る2月23日の地方紙に「比井小を志賀小に統合」と第1面に大きく掲載された。1年半という短い時間で統合の方針を打ち出した大きな要因は何だったのか。

**稲垣** 阿尾小学校との統合の経緯等を踏まえて、将来的な統合の妥当性・必要性と、その時期について本年2月開催の総合教育会議で協議を行った。

**稲垣** 小学校の適正規模ということから考慮すると、内原小学校を含めた3校の統合もその範疇にあると思われるが、なぜ比井小学校と志賀小学校の2校の統合となったのか。

**教育長** 仮に、最も教室の多い内原小学校を使用したとしても、教室数が極端に不足するなど、物的に極めて困難であり、現時点では議論を進める段階ではないと判断した。

**教育長** 平成27年の9月議会で議員より、「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引きの策定について」というご質問のあった後、教育委員会へ質問内容を報告し学校統合について話し合いをした。

比井小学校を含む町内小学校の児童数の今後の推移及び平成6年4月の

統合が検討される比井小と志賀小



比井小学校



志賀小学校

**稲垣** 比井小学校を志賀小学校に統合した場合は、教室数は十分に確保できるのか。また、体育館・運動場が現状のままでは、児童数が増えることにより、児童1人当たりの保有面積は減ってしまう。子ども達が狭さを感じるのではと、私は心配している。このことについて、教育委員会はどのように考えているのか

**教育長** 教室については、4教室程度の不足を見込

んでいる。また、志賀小学校の体育館は、面積が749㎡あり、統合した場合、1人当たりの保有面積は現在の内原小学校と比較しても広く、対応できる広さであると考えている。運動場については、小学校設置基準により、240名以下の児童数の場合、2400㎡を下回らないこととされている。2校統合となった場合、全校児童数は196名で、基準を満たしている。

**稲垣** 教育長は、「保護者や地域の方々の意見を聞くことが大切である」と言われている。今後どのようにに保護者や地域の方々に説明していくのか

**教育長** 平成29年度においては、統合の必要性及び長期的なスケジュール等をまとめた基本方針を策定し、保護者や地域の皆さまに説明を行いたい。

**稲垣** 平成30年度以降の説明と捉えたが、最初の説明会の開催時期はいつ頃になるのか。

**教育長** できる限り早く、29年度中に方向性を決め、その年度中に保護者や地域の方々に説明に行きたい。30年度というのではなく、できる限り早く、速やかに、誠意をもって対応していきたい。

**稲垣** この話は、至急、保護者や地域の皆さまへの説明が必要だと、私は考える。早く基本方針を策定し、説明をしていただきたい。また、予算案で、志賀小学校統合計画基本設計委託料557万3千円が計上されている。この基本設計にあたっては、関係者の意見を十分に聞くこと、そして、この委託料が最大の成果を上げられるようしっかりと取り組むことを要望する。

他の一般質問  
保育所業務の民間委託

## 清水 和人 議員

# 日高町総合戦略の体制強化を 町長 職員一丸となって取り組む



温泉館「海の里」みちしおの湯

**清水** 2月28日に有識者会議が行われ、地方創生先行型交付金の評価、検証が行われた。クエの町PR事業や海外観光客誘致事業が追加されたが、昨年より商工会が取り組んでいる事業を組み込んだだけで、当町としての新たな取り組みは無いのか。また、なぜ加速化交付金や拠点整備交付金の申請を行わなかったのか。

**町長** 本町の総合戦略は、「第五次日高町長期総合計画」をベースに、将来の人口減少予測や地域経済縮小の克服をはじめとする地方創生の取り組みを推進するため、本町の実情や特性等を踏まえて具体的な施策を明記したものである。本町では微増ではあるが、人口が増加傾向にあり、子ども医療費無料化の対象年齢の拡充や高齢者外出支援事業の実施など、福祉施策の充実と基盤整備等を図ってきたことが、選ばれ

ている背景にあると考えている。

加速化交付金や拠点整備交付金の申請については、交付金制度の概要が示された時点で、各課において精査・検討を行ったが、対象となる事業がなかった。

**清水** 財政が少しでも軽減出来るのであれば、取り組むべきではないか。当町としては、取り組むべき材料がなかったのか、何が合わなかったのか。

**町長** 加速化交付金は、一億総活躍社会の実現に向けた緊急対策にも資する効果の発現が高い分野の事業を対象としており、平成28年度内での執行完了が求められていた。また、拠点整備交付金は、総合戦略に位置づけられた施設で、地方創生等に十分な効果が見込まれる施設で、平成29年度の執行完了が求められていた。活用出来る事業が予め予定されていなかったことや、時間的余裕等が無かったことから申請にいたらなかった。



保健福祉総合センター

**清水** 温泉館や保健福祉総合センターを総合戦略の新たな交流の場として、この2つの施設を追加してはどうか。

**町長** 温泉館は町の重要な施設と認識している。今後、何らかの形で取り組んでいければと思う。保健福祉総合センターも市民の福祉施策の中で重要な役割を担っているため、有効活用のために皆様に利用して頂けるよう取り組んで行きたい。

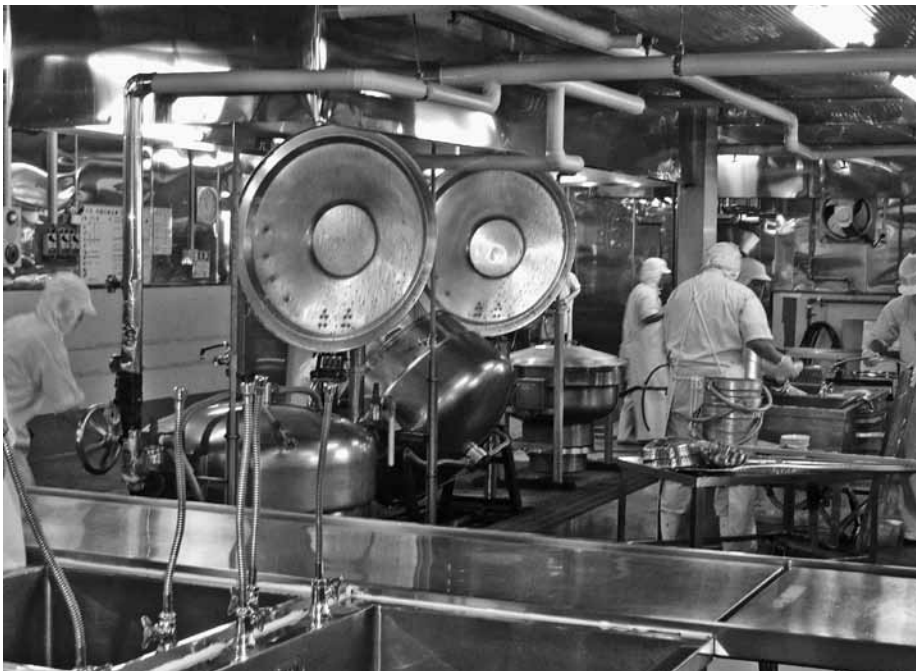
**清水** 国や県の交付金事業に取り組んでいける体制づくりを強化し、総合戦略に対応できる担当部署が必要ではないか。また、町長の総合戦略に対する考えは。

**町長** 当町の各課の職員がしっかりと取り組んだため、人口も増えるというのも事実で、魅力ある町づくりに職員一丸となり取り組んで行きたい。



西岡 佳奈子 議員

# 給食委託先施設のチェック・指導は 教育長 契約で関係法令等遵守を定めてやる



**西岡** 御坊市で学校給食が原因の集団食中毒がおきたが、そのことを受け、どう対応をされたか。  
**教育長** 学校に対して手洗いや体調管理の周知徹底するとともに、委託先であるシヨイフルランチ由良に対して衛生管理の徹底をお願いした。

**西岡** 調理、配送の全てを委託している中で、委託先の従業員や設備等の衛生管理について、どのように把握、指導されているか。  
**教育長** 委託先本社の紀州グループ株式会社から社内規定に基づき衛生管理のマニュアル等につ

て指導、通知が出された。  
**西岡** 学校給食衛生管理基準の中で、施設、設備の衛生管理、食品の検取や保管、調理過程、配送、研修など細かな基準が示されている。この基準に基づき、委託先の施設をチェックし、指導されて

いるか。  
**教育長** 契約の中では関係法令、通知の遵守をうたっているが、直接の指導はできていない。  
**西岡** 例えば基準では、施設についてドライシステムを導入または、ウエットシステムのドライ運用を求めている。また、ダンボールを食品保管室に持ち込まないことされている。一つひとつ、把握されてきたか。  
**教育長** 詳しいところまでは掴めていない。

**西岡** 基準に基づく施設に委託するのが当たり前の姿である。施設の状況を把握した上で契約に臨むということではなければならないと思うが。  
**教育長** 保健所から指摘されている点もあり、シヨイフルランチと協議を重ね、指導していきたい。  
**西岡** 大量調理による大規模な食中毒を防ぐためにも、自校方式の学校給食に転換を。  
**教育長** 現状の運営方法が最善であると考ええる。

## 衛生管理の徹底を

**西岡** 例えば基準では、施設についてドライシステムの導入または、ウエットシステムのドライ運用を求めている。また、ダンボールを食品保管室に持ち込まないことされている。一つひとつ、把握されてきたか。  
**教育長** 詳しいところまでは掴めていない。

## 不登校の状況、支援体制は

**西岡** 不登校児童生徒の状況、相談支援体制は。  
**教育長** 小学校が和歌山県平均程度、中学校が全国や和歌山県平均よりも低い状況にある。  
各学校で取り進む個別の支援の他、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを配置し、児童生徒、保護者への支援をしている。

**西岡** 御坊市の適応指導教室メイトを利用している生徒もいると思うが、定員が一杯ということを聞く。認識は。  
**教育長** 本町で適応指導教室を設置できればと思うが、困難だと考える。  
**西岡** 日高圏域の状況を踏まえた中で、教育長会で、御坊市の適応指導教室の広域での運営について提案していければと考える。  
**西岡** 御坊市の適応指導教室を活用できるのか、新たな施設建設、あるいは他の施設活用が良いのかなど、広域での取り組みについて提案していただきたい。  
**教育長** 御坊市教育委員会の意向も尊重し考えなければならぬ。しかし、様々な課題を抱える子ども達がいる中で、広域的な施設を作ることは大事だと思うので、提案したい。

# 新しい議会構成

2月13日、臨時会を開催し、各常任委員の選任、各組合議会議員の選挙等、議会構成をおこないました。また、小学校統合に関する調査研究特別委員会を設置しました。



◎印は委員長  
○印は副委員長

産業教育常任委員会

◎芝 充彦 ○玉井 博和  
井垣 弥 榮 茂美  
清水 和人 清水 正巳



◎印は委員長  
○印は副委員長

総務福祉常任委員会

◎井垣 弥 ○稲垣 崇  
西岡佳奈子 楠山 博之  
辻村 昌宏 一松 輝夫

議長 清水 正巳

副議長 西岡 佳奈子



◎印は委員長  
○印は副委員長

小学校統合に関する調査研究特別委員会

◎井垣 弥 ○楠山 博之  
西岡佳奈子 榮 茂美  
芝 充彦 稲垣 崇  
玉井 博和 辻村 昌宏  
清水 和人 一松 輝夫

◎印は委員長  
○印は副委員長

## 一部事務組合議会議員

- 和歌山県後期高齢者医療広域連合議会議員 楠山 博之
- 御坊広域行政事務組合議会議員 井垣 弥
- 御坊市外五ヶ町病院経営事務組合議会議員 芝 充彦
- 日高広域消防事務組合議会議員 一松 輝夫
- 御坊日高老人福祉施設事務組合議会議員 清水 和人

## 編集後記

日高町議会の定例会は、年4回、他に、臨時会、委員会もあります。町民皆様方の代表者として、11人の議員が、その都度質問しています。年4回発行の「議会だより」では、そうした様子を分かり易くお伝えしたいと思います。

広報特別委員会は、左記7人で構成されています。皆様、気軽にお声をかけて下さい。今後2年間、どうぞよろしく願います。

- 委員長 榮 茂美  
副委員長 楠山 博之  
西岡佳奈子  
井垣 弥  
芝 充彦  
稲垣 崇  
清水 和人